

臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

[研究課題名]

急性期における脳出血量と機能予後予測との関連性

[研究責任者]

研究責任者：中村倅輔

所属部署：リハビリテーション科

職名：理学療法士

[研究の概要]

本研究の目的は、急性期において、脳出血量別に、四肢・体幹機能、基本動作能力の回復過程を検討することである。その方法は、脳出血発症時の脳出血量を軽症(20ml以下)、中等度(40ml以下)、重症(60ml以下)と分類し、理学療法初期・最終の評価結果から、それぞれの、四肢・体幹機能、基本動作能力の回復過程を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2021年8月から2023年3月末までに、主治医から視床出血および被殻出血と診断され当院に入院し、リハビリテーション科から併診依頼があった患者とする。また既往歴に神経疾患・整形疾患がなく、発症前の動作機能レベルにおいても客観的評価が満点に達していたと考えられる患者を対象とする。

●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

カルテ情報：

基本情報：カルテ ID、診断名、年齢、性別、検査結果(頭部 CT 画像)、発症日・入院日・理学療法開始日・理学療法終了日

理学療法評価：脳卒中片麻痺患者の総合機能評価である Fugl-Meyer Assessment(以下 FMA)の下肢・バランス・感覚項目、総合評価の Stroke Impairment Assessment(以下 SIAS)の運動項目、体幹機能評価の Trunk Control Test(以下 TCT)、Pushing 症候群に対する Scale for Contraversive Pushing(以下 SCP)、Burke Lateropulsion Scale(以下 BLS)、歩行機能(Functional Ambulation Category: 以下 FAC)。

[研究の期間]

横須賀共済病院 臨床研究倫理委員会 審査承認後から 2023 年 3 月 31 日まで。

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710 (代表) (平日 午前 8 時 30 分から午後 17 時 15 分まで)

FAX 046-822-9139

研究責任者

リハビリテーション科 理学療法士 中村倅輔

*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。
あらかじめご了承ください。

以上